専門研修プログラム名	公益財団法人松原病院精神科専攻医	専門研修プログラム
基幹施設名	公益財団法人松原病院	
プログラム統括責任者	山田淳二	

専門研修プログラムの概要	研修基幹病院である公益財団法人松原病院において、急性期から慢性期、児童から老年期、応急・措置入院、等々の精神科医療におけるほぼすべての領域を網羅する研修である。また研修施設群である、松原病院（金沢）、七尾松原病院、福井大学医学部附属病院と連携しながら、専攻医の研修を進めていく。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	年次ごとに研修計画を立て、指導医と多職種による指導を行う。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	精神科専門医としての知識・技能は当然であるが、一人の人間、一人の社会人としての振る舞いや素養を身につける。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	年次計画に基づいた研修体制の中で日々のカンファレンスへの参加、院内研修、院内委員会への参加による知識・技能の習得をめざす。また児童・思春期精神障害については、月１回専門家を招いた多職種勉強会を開く。さらにアルコールに関しては、専門外来への倍診や病棟診察への指導なども合わせて行っていく。
	学問的姿勢	専攻医は常に自己研鑽し、自らの医学的能力を高めようとする姿勢が求められる。また積極的に症例検討会に参加・報告を行い、同僚や他の医療機関の医師の意見も参考とする姿勢も重要である。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	診断分類、面接法、各種検査、各種治療法を学び、日常の診療、症例検討、各種研修会、学会等に参加しながら精神科医としてコアコンピテンシーを身につける。診断・治療だけでなく、患者の環境、法的な問題、経済的な問題などを勘案した総合的な判断ができることが求められる。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年次：松原病院にて研修、2年次：松原病院もしくは連携病院での研修、3年次：松原病院での研修
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群：松原病院（金沢）、七尾松原病院、福井大学医学部附属病院
	地域医療について	病院内に外来訪問看護部門を設置しており、研修の中で訪問診療を経験いただく。またデイケアやデイサービスでの研修も行う。
専門研修の評価	プログラム統括責任者とプログラム管理委員会で定期的に評価し改善を行う。	
修了判定	プログラム管理研修委員会にて終了判定を行う。	
	専門研修プログラム管理委員会の業務	専門研修プログラムの作成・修正、専攻医研修状況の管理、専攻医就業状況の管理等を行う。
	専攻医の就業環境	基幹病院内専攻医支援委員会において、定期的に専攻医への要望調査を行う。

専門研修管理委員会	専門研修プログラムの改善	研修施設群内において、情報共有を半年に1回行い、年1回開催される協議会にて問題点の抽出と改善を行う。
	専攻医の採用と修了	2023年4月1日～2026年3月31日まで
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	研修の休止・中断となる事案が発生した時点でプログラム管理委員会で協議し決定する。現時点で条件はない。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	受入可能
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	松原六郎（代表理事：医師）、山田淳二（院長：医師）、堀内真紀（医師）、松原洋一郎（医師）	
Subspecialty領域との連続性	精神科専門研修を終了し、専門医となってからも、より高度な専門性を獲得できるよう必要に応じて対応する。	